

課題改善カリキュラム【総合的な学習】 考えをまとめる方法の習得と、活用の力を育てる7年間

		単元の内容		指導の工夫（活用する思考ツール）	カリキュラム改善の視点	
		学習課題	学習対象	学習事項		
Ⅰ期	小学3年	地域	地域巡り、地域の施設、農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域巡りをして、環境のよさや安全・危険なところを知る。</li> <li>地域の今と昔を知る。</li> <li>地域の農業、施設とのかかわりから、自分は周りに支えられていることに気付く。</li> </ul>	ベン図	地域について調べたこと、体験して分かったことや思ったことから比較してとらえられるようにする。 例えば、地域の今と昔について、調べたことを比較したり、共通する部分を考えたりすることで、さらに深めて発表できるようにする。
	4年	福祉	点字・手話・車いす	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイマスク、点字、手話、車いす等の体験から福祉への意識を高める。</li> <li>福祉の観点で、校内や地域を調査する。</li> <li>自分にできることは何か発信する。</li> </ul>	Yチャート	福祉について調べたことや体験したこと、話を聞いたことから分類してとらえられるようにする。 箇条書きにまとめたものを3つの観点（例えば、公共の建物・家・道具）で分類する。分類して分かったことや気づいたことをさらに深め、自分にできることを発信できるようにする。
Ⅱ期	5年	都市農業	地域の農業と地域で農業に携わる人々、関係機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の農業や生産者の現状</li> <li>自分たちが住んでいる地域に畑があることよ</li> <li>練馬区の農業のよさを大切にしていこうとする取り組み</li> </ul>	クラゲチャート	一つの問いや事象に対して、複数の根拠を示す構造となっている。根拠が一つではなく複数あること、根拠同士にも何らかの関連があるのではないかとすることを視覚的にとらえる。 この思考ツールは、①複数の視点をもつ。②それぞれの視点から言えることを検討する。③結果を統合して意見を作る。という手順になる。
	6年	自分（キャリア）	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近にいる働く人々や様々な機関</li> <li>自分自身（自分のよさ・現在の自分・将来への展望）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近にいる働く人々と働くことの意味</li> <li>地域や社会を支える様々な職業や機関</li> <li>現在の自分自身への気付きと将来への展望</li> </ul>	ピラミッドチャート	話を聞いたり文章を読んだりするときに、重要な部分を見つけてそれを落とさないように整理することが求められる。 この思考ツールは、 ①中心となっているテーマに当たりを付ける。 ②テーマとそれ以外の部分の関係を意識する。 ③テーマをはずさないよう意見を作る。 という手順になる。
	中学1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが住む地域（調べ学習）</li> <li>計画的行動（校外学習）</li> <li>自己理解・身近な人の生き方（進路学習Ⅰ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が住む地域のこと（練馬区内）</li> <li>東京下町の歴史・文化など</li> <li>自分自身・地域の身近な人（親、親戚、成人の友人など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>練馬区の農産業、交通、地理、風土など</li> <li>テーマの設定、調査事項の設定、疑問点の確認、見学コースの設定</li> <li>自分自身の現状把握と社会に在る職業の調査</li> </ul>	ピラミッドチャート	思考ツールは、小学校高学年と同様のものを、同様の進め方で活用する。 下から、「小学校」「中学校」「上級学校（高等学校、専門学校、大学など）以降」という段階に分け、現在の自分自身から、自分自身が興味を持った仕事に就くまでの道のりに、見通しを持たせるようにする。
Ⅲ期	2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報収集・集約（校外学習）</li> <li>進路への見通しをもつ（進路学習Ⅱ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で協力して頂ける事業所（練馬区内）</li> <li>地球環境</li> <li>鎌倉方面</li> <li>自分自身・友人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>働くことについて。正しい言葉遣い・マナーの習得。</li> <li>興味を持ったテーマに対する調べ学習。</li> <li>テーマの設定、調査事項の設定、疑問点の確認、見学コースの設定</li> <li>中学校卒業まで視野に入れた自身の進路を考える。</li> </ul>	ピラミッドチャート（立体） 2方向の視点で、より具体的に考えを深められるようにする。	職場体験では、実際に働くことで、社会において自身の能力を生かし、貢献していくことを経験させ、1年生の時に調べたことと重ね合わせ、より具体的にこれからの生き方について考えを深めさせる。 また、思考ツールは、これまで使用してきたピラミッドチャートにさらにもう一つの視点を追加させることで、より具体的に深めさせるようにする。
	3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路学習Ⅲ（進路計画作成）</li> <li>自国文化学習（修学旅行）</li> <li>進路学習Ⅳ（自己PR作成）</li> <li>裁判員制度の学習（模擬裁判）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分自身</li> <li>留学生</li> <li>東京弁護士会法教育センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校卒業後の具体的な進路についての目標を定め、それに向けて見通しを持って計画を立てる。</li> <li>自国の文化・伝統工芸・芸術・仏閣寺院について、興味を持ったテーマに対する調べ学習とフィールドワーク（修学旅行）</li> <li>自己理解を深め、様々な進路選択と上級学校の特色について触れる。</li> <li>裁判員制度について学び、将来に役立たせる。</li> </ul>	スターチャート 進路に向けて、複数の選択肢から自分自身の進路により近づけさせると共に最終的な進路決定の見通しを立てるようにする。	これまでの学習を踏まえて、様々な視点から自他を見つめられるようにする。 進路学習では、これまでの学習を通して得られた自己理解と、日本の社会的背景を踏まえた進路を選択できるようにする。

